

郵政民営化委員会（第225回）議事要旨

日 時：令和3年1月19日（火）13:15～ 16:10

場 所：w e b形式にて開催

出席者：岩田委員長、米澤委員長代理、清原委員、三村委員

株式会社ゆうちょ銀行 田中常務執行役

金融庁 田原総合政策局参事官

総務省 佐々木郵政行政部長

国土交通省 阿部総合政策局物流政策課長、伊地知自動車局貨物課長、
谷合大臣官房参事官（国際物流）

1. 議事

- ・ 「株式会社ゆうちょ銀行の新規業務の認可申請について」（ゆうちょ銀行）
- ・ 総合的な検証に係る省庁ヒアリング（金融庁・総務省・国土交通省）
- ・ 総合的な検証に係る郵政民営化委員会事務局報告（事務局）

2. 委員会での説明・意見等

○ 「株式会社ゆうちょ銀行の新規業務の認可申請について」（【資料225-1】）

① 説明の概要

- ・ 資料に基づき、ゆうちょ銀行から概要を説明。

② 委員からの意見等

- ・ フラット35の直接取扱をするに当たり、以前行っていた媒介業務に新たに加わる業務は何か。
（⇒ 銀行審査、資金交付・債権譲渡、債権管理が新たに加わる業務となる。こうした業務には、これまで媒介業務に従事してきた実務経験者をしっかりと活用していく。）
- ・ 住宅ローンやフラット35に関するこれまでの媒介業務で得た経験を、リスク管理の観点から、フラット35の直接取扱にどのように反映しているのか。
（⇒ 審査業務などを行うバックオフィスには、これまでの媒介業務経験者を配置することとしている。また、スルガ銀行の事案の際に不動産会社が問題になったという経緯もあり、不動産会社の管理をしっかりと行う必要があることをフロント部門にも理解してもらう必要がある。媒介業務において不動産会社に関する情報の管理はしっかりと行っており、その経験を活用して業務を行う。）

○ 総合的な検証に係る省庁ヒアリング（【資料225-2～4】）

① 説明の概要

- ・ 資料に基づき、金融庁、総務省及び国土交通省から概要を説明。

② 委員からの意見等

- ・ かんぽ生命が策定した業務改善計画の進捗状況についてモニタリングしていると思うが、現状のかんぽ生命の営業体制などに関する取組について、金融庁ではどのように評価しているか。
（⇒ （金融庁）現在の経営陣においてはしっかりした取組が行われているものと考えているが、日本郵政グループは大きな組織なので、現場まで経営陣の問題意識が浸透しているのかどうかといった点について、引き続きしっかり確認していく必要があると考えている。）
- ・ 物流において、人手不足は深刻な問題であると思う。ある推計では5年後に28万人不足するという統計がある。シェアリングや自動運転などが考えられるが、どういう対応が重要か。
（⇒ （国土交通省）総合的に対策をすることによって、改善していきたい。特にドライバーの待遇改善が必要。シェアリングは長距離トラックには向いてな

く、ラストワンマイルでも安全面で問題が上がっている。このため、長距離トラックでは、高速道路での自動運転による隊列走行に期待している。）

- ・ 郵便局の推移について、総務省としては適切に局数が維持され要件を満たしているとの見解のようだが、時代や経済状況の変化やＤＸ等を踏まえ、郵便局の配置の見直し等を柔軟に行っていく考えはあるか。

（⇒ （総務省）制度としては、いずれの市町村でも一以上の郵便局を設置し、過疎地でも民営化時の郵便局ネットワーク水準を維持することとしており、現在はこうした考え方に基づきネットワークを維持していただくこととしている。他方、都市部の一部の郵便局の合理化が進められているが、配置は人口動態やデジタル技術の活用も踏まえ郵便局のサービスについて、利用が完全にできるということを将来にわたって維持することが重要である。）

○ 総合的な検証に係る郵政民営化委員会事務局報告（【資料225－5-1～2】

- ・ 資料に基づき、事務局から概要を報告。

－以上－

注）議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。